

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活協同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	法人は複数の診療所と介護事業を展開している医療生活協同組合で、当事業所はH19年11月に開設した小規模多機能型居宅介護である。同一の敷地内に介護付有料老人ホームと特別養護老人ホームが併設されています。また協力医療機関である、ながおか生協診療所や隣接の事業所と密に連携を図って、ご利用者が安心して暮らせるようにしています。
事業所名	プラット高町	管理者	清水 昭子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	1 人	1 人	2 人	1 人	1 人	4 人	0 人	12 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	●外部評価の情報共有をミーティングで行う。	・ミーティングの時間では難しかったが毎月の部会で情報共有は行っていた。	・次回までの具体的な改善計画をもう少し具体的（実際の取り組み方法）にしたらいと思います。取り組む時間が短いので、その間に目標が達成できたかどうかを評価しやすい計画内容にしてはどうでしょうか。計画とした根拠がはっきりとしていると良いのではないのでしょうか。	・スタッフ自己評価や事業所自己評価に対する理解を深めるための事前学習会を実施する。 ・各自で個人目標を立て、年1回管理者と目標の達成度等について話し合いの場を設ける。
B. 事業所のしつらえ・環境	●コロナ感染症も2類から5類になり少しずつ通常の活動に戻りつつある為、わいが家での班活動や公民館利用者が気軽に立ち寄れるよう環境整備を行う。	・物品で溢れ倉庫ようになっていたわいが家の荷物を撤去した。 ・ハイタッチ班（地域の体操教室）が再開できた。 ・地域の方が卓球をしに来たり、子供たちが遊びにこれるようになった。 ・自動販売機を新しい物2機入れ替えを行った。	・事業所内の様子を見させていただく機会はありませんのでアンケート結果から記入しました。 ・コロナ感染症が5類になり、わいが家を利用する方や活動は増えましたか。	・気軽に立ち寄れるような雰囲気を作るためにご利用者様と一緒に玄関周りに花を植える活動に取り組む。 ・居心地の良い場所になるようホール内に月ごとの壁画作りをし、明るく楽しい場所作りをする。
C. 事業所と地域のかかわり	●今まで以上に地域との交流を意識し、行事やイベントに積極的に参加し、事業所のアピールを行う。	・公民館で行われる子ども食堂に参加し、そこに来る方にプラットの宣伝を行った。 ・町内の回覧板に年4回お便りを挟んでもらうよう依頼を継続して行えた。 ・地域の方が訪れた際、リースを見て教えてもらいたいというお言葉が聞かれた。	・困りごと、相談等の問い合わせはありませんか。 ・事業所を訪れた際、笑顔で対応がよいと思います。 ・事業所のアピールは具体的にどのように行いましたか。	・行事やイベントの参加を継続する。 ・玄関だけでなく、わいが家にも広報紙等の掲示をし、より多くの方に事業所知っていただけるよう取り組む。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	●事業所として地域に出向くだけでなく、今後も利用者さんをできるだけ外にお連れし、季節感を味わっていただけるようなドライブの実施や顔馴染みのスーパーなどでの買い物や年間行事に位置付け、ご利用者・ご家族との関係構築に努めていく。	・その方が住んでいる地域に全員が出向くことはできなかったが一部のご利用者様個別対応での買い物を行うことができた。 ・季節感を味わっていただけるようなドライブは年間計画に沿って実施することができた。	・利用者以外の地域の方からの相談はありますか。その様な事があれば民生委員の方も出席している運営推進会議で聞かせて頂くと地域の情報を共有できて良いと思います。 ・外出行事やドライブには利用者様も参加されており、ご苦労お察しいます。 ・地域行事・イベントなど地域の方と交流する機会（人）は限定されていますが、利用者様も交流できるとよいですね。（アンケート結果で「地域～」は参加していない意見が多いようでしたので）	・担当職員がご利用者様のやってみたい、行ってみたいなどの興味がある事を引き出し、それを実現できるよう地域のイベントなどを情報収集し、外出の機会を設ける。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	●委員の方へ事業所の様子をわかりやすくお知らせする。 ●地域で心配な方がいらっしゃる際には運営推進会議で情報の共有、相談しながら皆様からの意見を求め、連携を図っていく。	・事業所の様子がわかるよう各事業所の様子を写真でお知らせすることを心がけた。 ・地域で心配のある方があまりご相談がなく共有が難しかった。	・地域の方からの情報を活用していると思います。運営推進会議では事業所の報告だけでなく、構成員に聞いてみたいことなどあっても良いと思います。 ・自己評価7.運営についての次回までの具体的な目的は何ですか。	・運営会議でいただいた意見等を部署会議で周知していく。 ・できる限り多くの職員が会議に参加し、事業所運営や地域の中での課題を理解する。
F. 事業所の 防災・災害対策	●今後も地域と協力しながら訓練を実施する。 ●緊急連絡網を使用した訓練を実施する。 ●他事業所にも訓練に参加して頂き意見をもらう。	・山通り地域の防災講習に参加することができ色々な町内の課題などが分かった。 ・他事業所からの参加が小規模三和のみであった為、今後はもう少し大勢の方に参加していただけるよう呼びかけ意見をいただけるようにする。 ・緊急連絡網の訓練はメールを使用した訓練のみで電話をした連絡網訓練の実施ができなかった。	・今後、事業所の訓練に参加して頂きたいと思いますが、どのような日程で行っていますか。 ・訓練を通しての反省点等をマニュアル変更に活かし、より実践的な訓練やマニュアルになるといいと思います。 ・緊急連絡網を使用した訓練はどのくらいの頻度で行っていますか。	・運営推進会議出席の委員の皆様にも訓練についての案内を行い、参加・見学をしていただける取り組みを実施する。 ・町内会が実施する訓練にAEDや車椅子の講習会で講師を務め地域一体となって防災の備えを行う。